

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	大崎むつみの里第2事業所		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 11日		～ 2024年 11月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2024年 10月 11日		～ 2024年 10月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の経験の長い職員が多く、子供たちが安心して通うことができているという声をたくさんいただいた。	園児一人一人に合わせた支援計画を作成し、クラスの活動の中で個々に必要な取り組みを取り入れている。 希望を受け、随時保護者からの相談を受けられるようにしている。	引き続き、より良い支援につながるよう勉強会やケース検討などを実施していく。 保護者支援として、面談のほかに勉強会や懇談会等学ぶ機会や保護者同士の関りを大切にできる機会を増やしていく。
2	地域の保育園との交流	今年度より、交流保育を再開した。令和6年度中に、公立保育園1園2回・私立保育園8回実施。年少児から年長児のお子さんと一緒に活動に参加している。	引き続き交流保育をお願いしていく。積み重ねていくことで、おとだちの真似や関わりが増えていけるよう支援していく。
3	親子クラスの活動時間が長く給食を提供している。	午前だけでなく給食を提供して午後も活動できるようにカリキュラムを組んで実施。給食後の自由遊びでは保護者がお子さんから離れて昼食をとる時間も設けている。	保護者がお子さんから離れて、ゆっくりできるような保護者支援の取り組みを計画していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未歩行児の単独通園の受け入れクラスがない。	通園クラスの中で一緒に過ごす場合は安全のため職員がつかい必要があるが人員不足。リラックスして過ごせる環境も必要だが現在空き部屋がない。	現在、親子クラスでは安全面や必要な取り組みなどを考えて歩行児・未歩行児を別クラスとしているが、教室数等の関係で単独通園では同クラスとなるので人員配置や設備の整備が必要となる。
2	設備が古く使いにくさがある。老朽化による修繕も必要となってきた。	建物の老朽化大規模修繕の延期。	引き続き日々の清掃を行い綺麗に維持していくとともに、施設内が明るく楽しい場所になるよう季節の装飾など子供たちが楽しめる雰囲気づくりをしていく。
3	感覚遊具を室内に設置できる環境がない。	天井等の状況から感覚遊具設置のための設備をつけることができない。修繕も延期となっている。	感覚遊びのできる設備を据え置き等のもので検討していく。 園庭遊びの際にプランコや鉄棒等を利用して揺れ遊びが楽しめるよう設定していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大崎むつみの里第2事業所

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 44 令和6年 11月 1日 回収数 37

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2			・利用人数や保護者数によっては、狭いと感じることがある。 ・部屋数は十分とは言えませんが、ある環境の中で先生方工夫してくださっています。	ご意見ありがとうございます。時間配分や、活動内容の重なりがないよう工夫し、部屋数の確保に努めてまいります。活動が安全に行われるよう、十分なスペースを作り、整えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	7		1	・いちご・みかん組合の時は、数十名に対して、少なく感じる場面もあります。 ・適切な人数の先生がいて下さいますが、子どもの特性上、それでも先生方が忙しそうにされているので、フォローの先生など増員していただくと先生方のご負担も軽減されるのではないかと思っています。 ・子供たちの発達状況で、もう少し職員が多い方がいいのではと思うこともあります。(同意見3) ・人手不足を感じることもあります。	ご意見ありがとうございます。児童発達支援センターの配置基準は、児童4人に対して職員1人となっておりますが、お子様に合わせた、きめ細かい対応ができるよう努力したいと思います。また、全職員で定期的なお子様のケースカンファレンスを実施し、共通理解を図ります。親子クラス合同日については、クラスを越えた交流が持てるよう実施しております。人数が多い日については、園全体で職員が連携し、充実した支援になるよう体制を整えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	2			・今年度はリュックがロッカーに置けず、今までの流れが継続できなかったです。	ご意見ありがとうございます。リュックが気にならないように、廊下に出させていただいておりますが、現在、ロッカーにしまう取り組みをさせていただいております。今後も積み重ねを大切にしたい支援に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	2	1	1	・トイレが改修されてよかったです。 ・建物の老朽 ・園庭がもう少し広いと良いなと思います。 ・トイレの改修をして頂き、ありがとうございました。子どものサイズに合った便器で明るい雰囲気になり、子どもも使いやすいそうです。	トイレについて、長い間ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。また、改修の期間はご協力いただきありがとうございます。今後も、お子様が安心して、清潔にトイレを使用できるよう努めていきます。建物の老朽化については、緊急性の高いものは少しずつ修繕を進めてまいります。園庭は、広いスペースで遊べるよう、活動内容を工夫していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	3		2	・理解は十分にしておりました。 ・担当の先生がかわる日でも安心して、お願いできます。	ご意見ありがとうございます。今後も、お子様にとって質の高い支援となるよう努めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33			4		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	2	1	1	・親子日ですと、親と関わる事が多く、実際の支援となると実際見ていないのでわからないところもあります。	ご意見ありがとうございます。児童発達支援計画に基づいた支援を行っております。支援内容について、ご不明な点があれば、いつでもご相談ください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	2		1	・さまざまな活動が用意されていると思います。 ・図書ボランティアさんにも来ていただき、保育園とは違う刺激になる。	ご意見ありがとうございます。今後も多彩なプログラムを提供できるよう努めてまいります。図書ボランティアも、継続して実施していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	1	5	8		年少未満のお子様については、学園での療育を大事にさせてもらっており、実施しておりませんが、年少以上のお子様は、地域の保育園2園との交流保育を実施しております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37				・とても丁寧だったと思います。 ・変更の際は都度お知らせいただきありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今後も丁寧な説明を実施してまいります。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35				2		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35			2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	34	2	1		・担任の先生はじめ、電話で丁寧に個別に対応いただいております。 ・母子通園には、先生とこどもの状況について日常的に話すタイミングが分かりません。半期ごとの面談以外にも話せるような機会や雰囲気作りがあると嬉しいです。 ・些細な事もお電話をくださり感謝しています。	ご意見ありがとうございます。いつでも必要時に相談できるような体制を整えておりますが、ご案内不足があったかもしれません。申し訳ありませんでした。話しやすい環境作り努めていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	3				・先生にはとても感謝しています。	ご意見ありがとうございます。今後も、定期的な面談やご相談をお受けできるよう努めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37					・子供、保護者に寄り添って下さっていると感じます。 ・いつもよりそっていただき、感謝しています。	ご意見ありがとうございます。保護者の皆様に、いつもご理解、ご協力をいただけていることで、より良い支援を目指すことができていると思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	23	5	3	6	・運動会や文化祭など親・兄弟も参加できるイベントを準備していただき、楽しませていただいています。また、父親だけの参加の際は、先生がフォローして下さったり大変お世話になってます。 ・きょうだい向けのイベント、あるといいです。 ・兄が行ってもあたたかく迎え入れていただき、ありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。今年度はご家族で参加できる行事を増やしたことで、皆さまに喜んでいただけて良かったです。今後も、お子様やご家族の皆さまにとって、楽しい行事となるよう取り組んでいきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2		2	・親子で登園する日などに相談させて頂くとその日の放課後にすぐ、お時間を作ってください相談にのっていただけるので大変ありがたいです。 ・心配事などを連絡帳に書くこと、その日にお電話で対応方法など伝えてくれます。	ご意見ありがとうございます。今後もご相談や申入れについて、迅速に対応させていただきます。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2		1	・電話、バスの降車時、親子日、ノートすぐ丁寧にコミュニケーションとっていただいています。	ご意見ありがとうございます。今後も、お子様の様子について、保護者の方と共有できるよう努めていきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	4	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	3		1	・防犯、特に不審者対応については不安があります。門が誰でも開けられること、玄関扉はいつも閉まっていると思うのですが、セキュリティ面が心配です。	ご意見ありがとうございます。防犯セキュリティについては、設備の改善を含め、検討していきます。年2回の不審者対応訓練を継続していきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36			1			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	1	1			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33			4	・ケガをしたことがない。 ・連絡帳、お電話をくださり、その時の状況を説明してくださいます。 ・そのような事が、まだ発生した事がない。 ・転んで顔をぶつけた、など電話で連絡していただき、安心です。	ご意見ありがとうございます。これからも、事故等について発生した場合、こまめに連絡できる体制を整えていきます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	1		1	・一度も不安そうな姿はなく、安心感をもって通所できていると思います。	ご意見ありがとうございます。今後もお子様に、安心感を持ってもらえるよう努めていきます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	2		1	・朝の支度の様子からわくわくが伝わってきます。 ・とても楽しく通えています。 ・意識疎通が取れないので不明だが楽しそうにしている。 ・毎日楽しそうに通園しています。	ご意見ありがとうございます。お子様が、帰宅された際に、「今日も楽しかった」と感じてもらえるよう日々の支援に取り組んでいきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1			・園庭があること、先生方がとてもよくていねいで、親のこともご対応いただいております。子どものことも理解し受容していただいておりますので通わせています。	ご意見ありがとうございます。お子様が安心感を持って、楽しく過ごせる場所であり続けられるよう努力していきたいと思っております。いつも、ご理解ご協力をありがとうございます。今後もよりしくお願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
大崎むつみの里第2事業所		令和7年 2月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0		行事等で2クラス合同日となると、保護者もいて部屋が狭く感じる。目が行き届きづらくなる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2	配置人数は適当である。個別対応が必要な際は、状況に応じてフリーの職員等が対応している。	基準は満たしているが基準が低く、もっと多くの人手が必要だと思う。時と場合によって職員数が足りないと感じる時がある。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	必要なもの廃棄するものを精査し整理整頓を心掛けていく。	玩具の定期的な整理が必要と感じる。相談室が遊具等の一時保管場所になってしまい、使用できない状態の時もある。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	1			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	利用者アンケートを実施している。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	研修計画を立て、実施している。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	活動が固定しないよう工夫し新しい遊びを取り入れている。	遊びの研修等にも参加していく。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	朝の会で確認し情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	帰りの会で振り返りを行い情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	必要に応じて、保護者の了解を得て条項共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	13	1	相談支援連絡会と共に緑区内の児童発達支援センターと一緒に地域の事業所や幼稚園等の職員を対象とした研修を開いた。	十分ではないと感じる。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	14	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	13	1	緑区は協議会はまだないが、地域の子ども部会を作るための交流会に参加している。	十分ではないと感じる。
	31	(31は、事業所のみ回答)	14	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14	0	地域の公立保育園1園、私立保育園1園と交流保育を行っている。今年度は年10回実施。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0	専門職(ST、心理、栄養士)の保護者向け勉強会を行っている。 外部研修については園内に掲示している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	定期、随時お個別面談を行い、相談を受ける機会を設けている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	クラス懇談会やティータイムを通して、お話しできる機会を設けている。	きょうだい間での交流はまだ少ないが、運動会などの行事で顔合わせる機会を持っている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0	毎月園だよりやクラスごとのカリキュラムを発行している。 X（エックス）を週1回程度投稿している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	0	11月にむつみ祭を実施。地域の方にも声をかけさせてもらっている。 むつみの里全体の見学会を実施した。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1	職員の帰りの会で周知し、その後回覧するようになっている。再発防止のため、今後の取り組みについても記入してもらっている。	共有されているが活用が不十分である。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	今年度は対象者なし。		